

141  
241

信條改正案

昭和二十五年三月三十一日

附録

『日本の政治』編輯部編、日本経済一年生、昭和二十五年三月三十一日発行、東京、日本経済一年生編輯部。

020808-000-2

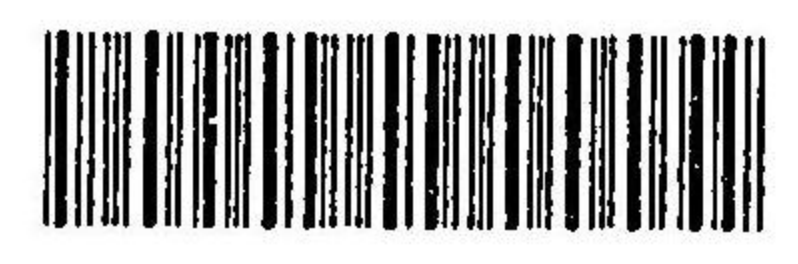
特21-727

信條改正案

信條講究会／編

M27

ABI-0634



## 例言

この信條草稿は従前の日本基督一致教會が、現今の信仰の告白、即ち使徒信經を採用せし大會の際、呈出せられし原案と同じく、英國長老教會に於て、ウエストミンスター信仰箇條の複雑なる神學の諍議を避け要領を得たる原文に基ける者にして、前日の反譯は遺憾なきに非ず、爰に改譯して信條講究會の資料とし、之を汎く參考に供すと云爾。

明治二十七年三月

## 信條

### 一、神に就て。

われらは、靈にして、有心、無限、永遠、普在、全能なる造主、あらゆるもの、主權者、最も頌美すべく、最も神聖にして、最も自在なる、知慧、公義、眞實、及び慈愛に於て完全なる、吾人に對して最も憫み深く、恵み深き、吾人の唯之にのみ倚り、唯之にのみ祈り、唯之にのみ敬拜し、服従すべき、獨一の活ける眞の神を信仰し、且つ之れを崇めまつるに榮光を以てし、之に歸せんことを、アーメン

われらは、存への教會とともに、聖書に啓示せられし聖三一の秘義を認め、又つねに祝謝しまつるべき神の一なるうちに、その能力も榮光も異ならざることなき、一體にして、三箇の「ペルソナ」、即ち父と、子と、聖靈の在りますことを信ず。

### 三、創造に就て。

われらは、全能なる神が、自己の神聖にして、慈愛ある目的の爲に、元始に、永遠の道、即ち、御子に由て天地を創造し給ひ、漸進に由り、此の世界を造り整へて、すべてのものに生命を與へ、また自己の像に肖りて人を造り、之をして神の榮光を彰はし、且神を樂しみ、地を用ゐ且之を服はせ、すべての生物を統轄し、おのれの造者を頌美しまつらしむるを、よしとさせ給ひしことを信ず。

### 四、攝理に就て。

われらは、造物者たる神が、その大能の言に由て萬物を維持し、すべての生物を、その存在の理法に循ひて、保續し、之が爲に準備し給ひ、また神は、自然界と歴史界とに於る、その靈氣の存在と勢力とに由り、自己の深き設計を果さんが爲に、あらゆる出來事を定め、且之を支配し給ふことを信ず。されど神は、如何なる場合にも、罪惡の造者に非ず、また之を承諾し給ふ者に非ず、人の自由と責任との奪はるゝこともなく、また時と所と方

法の如何を問はず、その聖旨のまに／＼はたらき給ふ神の至尊なる自由に制限を置かるゝともなきなり。

### 五、墮落に就て。

われらは、人類の祖先たり、代表者たるアダム、即ち第一の父が、魔鬼の誘惑に由り、神の誠命に悖りて、従前罪なくまた神と交通したる況より墮落し、人類はみな彼と偕に、死の刑罰に該る正しき罪を受け、神より遠かり、すべて實際上の背悖を來たす根源なる、罪惡の性を受け嗣ぐものとなりしことを信じ、且何人と雖も、この事態より自身を救ひ出す能はざることを認む。

### 六、救拯の恩恵に就て。

われらは、憫恤に富みて、また完全なる公義の神が、その人に對しての宏大なる慈愛に由り、最初より贖の約束をなし、年を経るに従ひ、之を確くし、また之を明かにし、時の充つるに及んで、世の救主として御子を遣はし、恩恵ある目的を成就し給へることを信じ、また之を宣言す。故に吾等が罪惡

と艱難より、救ひ出さるゝは、たゞ自在至尊なる恩恵に因るものなり。

### 七、主イエス、キリストに就て。

われらは、古への教會と共に、神の永遠の御子にして、自らまことの肉跡と靈魂とを取りて、人となりたれども罪なく、聖靈の力に由り孕まれ、處女マリヤより生れて、神たり人たるのみならず、一「ペルツナ」としては分つべからざる合同をなせども、亦神人の、完全にして分明なる兩性を有し、神と人との仲保者となり、我等のたゞ之に倚りてのみ救はるべき、主イエス、キリストを信仰し、且之を表白しまつる。

### 八、キリストの行爲に就て。

われらは、仲保者、即ち主イエス、キリストが、聖靈を注がれて、人々のなかに神の國を宣傳し、また之を建設し給ひしは、地上に於ける主の完全なる生活、即ち恩恵の言行と、十字架上の死とに由り、またおのれ自ら父の像にして、父を彰はし給ひしに由ること、および、吾人の罪惡を負ひて、自

身を神の御前に瑕瑾なき犠牲として献けまつり、死に至るまで、吾人を益せんとして、父の律法と聖旨とに服従せられしに由り、神の公義を充分に満足し、吾人の爲に罪の赦と、神に對する平和と、永遠の生命との賞賜を得給ひしことを信す。

### 九、キリストの高擧に就て。

われらは、イエス、キリストが、吾人の罪惡の爲に、十字架に釘られ、死して葬られしかども、朽ち果てず、第三日に甦り給ひ、我等も亦主の復活の生命に在り、新たに生れ且幸榮なる復活のあるべきことの保證を受け、なほ主は其の甦りたるまゝの體にて、天に昇り、我等の祭司長として、我等の爲めに絶えずとりなしをなし、また萬有の主たる、權威と大能とを有し、教會の首長として、神の右に座し居給ふことを信す。

### 十、福音に就て。

われらは、すべての人人の救はれて、真理の知識を得るに至らんとことを望ませ給ふ神が、人人の罪惡をみな去りて、主イエス、キリストを信仰し、之に

倚り頼むべき旨を諭して、罪の赦と、永遠の生命とを、何人にも隨意に賜はる所の恩恵の福音を、萬國に傳ふべしとの任命を、吾等の救主、即ち御子に由り、教會に附與し給ひしことを主張し、且之を宣言す。

### 十一、聖靈に就て。

われらは、聖旨のまに／＼はたらき給ひ、苟もその活動の恩恵に由らざれば、救拯あることなく、また父は之を請ひ求むるものを斥け給ふことなき、主たり生命の賦與者たる聖靈を信仰しまつる。また吾等は聖靈が歴代人人の心を感動し給ひしこと、豫言者に由り宣示し給ひしこと、キリストの智識に於て、人人の心を照し、世をして罪惡あるを覺知せしめ、福音の召に従ふべきことを勧め、また之に應ずるに足らしめんが爲に、崇められたる救主により、大能を以て遣はれ給ひしこと、および、真理の靈、神聖の靈、慰籍の靈として、各信徒の心の中に寓せ、教會を偕に在ますことに就き、感謝しまつる。

十二、選擇、及更生に就て。

われらは、父なる神が、世の基礎を置かれし以前に御子に賜はらんとて、聖靈の普通の方法、即ち人人の事理を辨知し得るの時齡に及んで、神の言の真理をして、その天性に適合せしめ、以て大能の秘密なる、靈しき動作により、靈性的生命を分與せらるる一種の人民を、キリストに於て、自ら選擇せらるる至尊の恩恵を、よしとさせ給ひしことを謙りて肯ひ、且之を信す。斯て更生せしものは、善事を行はせんとて、キリスト、イエスのうちに造られし神の子輩たるなり。

十三、信仰に由り、義とせらるる事に就て。

われらは、何人にも、聖靈の恩化により、その罪惡を自白し、之を去り、謙りて救拯を得んが爲に、單りキリストのみに倚り頼み、悔改めて福音を信するものは、キリストの完全なる服従と贖罪の犠牲とのゆゑのみを以て、神の御前に功蹟なくして赦され、また義なるものとして、受け容らるることを信す。

十六、成聖、及聖徒の永存に就て。

われらは、キリストに屬する人民一般のなかに寓り給ふ聖靈が、彼等をして神の聖旨の要求し給ふところの事を自由にまた喜んで、爲すに適當ならしめ、以て彼等の心思を深め給ひて、彼等が自らキリストの精神に服し、またキリストの言の嚮導に従ふの度に準じて、日常の行爲をして力あらしめ、主の像に倣ひて神聖に進み、また若し自ら齋戒せず祈禱を怠りて、神より離るる時は、誰にても氣をおとし、或は悲しき罪惡に陥ることあるべしと雖も、眞實にわたらせ給ふ神の憫恤により、彼等は棄て離るることなく、却て其教に背きたるがゆゑに、箴戒を蒙りて、悔改により、神の恩顧に復舊し、滅亡に至るなきことを信す。

十七、教會に就て。

われらは、聖靈により、其首長なるキリストに結合して、一體となり、其主、及相互の間に交通を有する萬代萬國の無数なる聖徒の社伴、即ち一の聖公同教會を認むるは、又われらは、地上の教會が、キ

十四、キリストに於て、子たる事に就て。

われらは、信仰を以て、キリストを接くるものはみなキリストと合體し、キリストの生命を享受し、キリストの完ふせられしことに陪ること、および、神の家の養子とせられしものは、キリストと俱に後嗣とせられて、神の子輩たる証據と、其の嗣業の確實なるとの爲に、彼等のうちに寓り給ふキリストの靈を有することを信す。

十五、律法、及新服従に就て。

われらは、主イエス、キリストが、その恩恵に由り、神の完全なる律法を恪守すべき新たなる職分を、己れに屬する人民に擔はせ、其言行をもて、律法に關する吾人の智識を擴充し、また吾人が神の聖旨に遵ふには親を敬愛するの精神に由てすべきことを實例をもて示し給ひしことを信じ、且之を認む。またわれらは、基督教徒の服従する所、この世に在りて常に不完全なりと雖も、彼等がキリストと一致したる結果として、キリストの爲に神に受け容れられ、嘉みせらるることを、神に祝謝しまつる。

リストを信仰すると、及キリストに服従すること、を表白する者と、その子女とを有し、キリストの名を信すると、神を公けに禮拜すると、聖徒の徳を養ふと、福音を傳ふるとの爲に、組織せられし目に見ゆる聖別の兄弟として、存在することは、キリストの聖旨なりと承服す。又われらは、イエスキリストを神なる主とし、救主として、之を信仰し、之に服従することを表白する世界中の各個の教會は、多少の正邪を混するとも、此に謂ふ所の、總體の兄弟の一部なりと認む。

十八、教會の規定、及親密に就て。

われらは、教會の唯一の首長なる主イエス、キリストが、聖書に啓示せられし聖旨に循ひ、適任と認められて、當職に撰任せられたる會吏により、執行すべき教會の禮拜、教訓、戒規、及政治を定め給ひしことを信す。また目に見ゆる教會は、その最も純正なる部分にも、價値なき會員を有し、且誤謬に陥ることあるを、信徒は自ら輕くし、之と絶交すべからずして、其の兄弟と親密に在るべく、其の親

密は、神の與へ給ふ場合に從ひて、何所に於ても、主イエス、キリストの名を呼ぶものに及ばすべきなり。

### 十九、聖書に就て。

われらは、創造、攝理、殊に人の靈魂に於て、自己を顯現し給ふ神が、歴代種々の方法に由り、吾人の救拯の爲に、その聖心と聖旨とを啓示せらるゝを、よしとし給ひしこと、および、この默示は要する所に隨ひ、聖靈の啓迪を受けし人々に由り、舊新兩約の聖書に筆記せられ、誌るされし神の言、若しくは「人類に贈られし使書」として、すべての人々が謹んで學ぶべきものなることを信す。且われらは信仰と義務とに關しての諸問題の、最高なる審判者は、聖書のなかに宣言し給ふ聖靈なることを、恭しく認めまつる。

### 二十、禮典に就て。

われらは、キリストの寶血を以て、確保せられたる新約の徴号とし、また印章として、永久に守るべき、キリストの制定に係る二禮典、即ちバプテスマ

と、主の晩餐とを認む。之を執行するは、教會が、その主君を表白し、自餘の世俗より、目に見へて、區別せらるゝが爲めなり。父と子と聖靈の名に入れ、水を以てするバプテスマは、目に見ゆる教會に加入するの禮典にして、われらがキリストに結合し、聖靈に由ての更生、われらの諸罪の赦、および主のものとなるの約束を表はすものなり。主の晩餐は、キリストとの交通、およびその人民相互の交通を表はすの禮典にして、パンと葡萄酒は、キリストと、その十字架上の犠牲とを、感謝記念して受授せられ、信仰を以て、之を受くるものは、みな靈性上の運作に由り、慰藉、滋育、および諸徳を増し加ふるが爲に、主イエス、キリストの血肉を賦ち受くるなり。

### 二十一、再臨に就て。

われらは、たゞ神のみ獨り知り給ふの日に、主イエス、キリストが、大能大榮を以て、俄然再び天より來臨し給ふことのあるべきを確信す、而して、われらは、教會の幸樂なる希望として、われらの

救主の第二の顯現を待ちつゝあるなり、われらは主の來臨の時に準備してあらんがために、恒に忠實に醒覺勵精して、之を待ち望まざるべからず。

### 二十二、復活に就て。

われらは、義人の靈魂は死する時、主と偕に在るところの安息、及幸福あるの況に入ることを、神の御子の大能により、義者不義者諸共に、死より蘇るべきこと、および、キリストにありて就眠せしもの、肉體は、主の來臨の時、生存する信者と同時に、すべて新しく象られ、キリストの榮光ある體と同様にせらるべきことを信す。

### 二十三、最後の審判に就て。

われらは、神がイエス、キリストを以て、公義により、世を審判し給ふこと、萬民必ずキリストの御前に出づること、および、義者を惡者より分ち給ふ主イエス、キリストは、惡者は永遠の刑罰に入り、義者は永遠の生命に入るの際、人の心の隠密を顯明にし、善にもあれ、惡にもあれ、身に在

て爲せし所業に從ひて、各人に報ひ給ふことを信す。

### 二十四、無窮の生命に就て。

われらは、贖はれし者が、みなその父の國に於て、榮光ある嗣業を受け、その常常仰き見て樂しむ所の神の御前に在り、之に事へまつりて、豊かに祝福を受くる無窮の生命を信仰し、且之を願望す、アーメン。

明治二十七年三月二十六日印刷

明治二十七年三月二十六日印刷  
信條講究會編輯

東京淺草區須賀町二十三番地

發行兼印刷人 櫻井昭 惠

東京芝區白金三光町四百十二番地

發行所 自營館出版部

印刷所 自營館活版部

THE UNIVERSITY OF CHICAGO  
LIBRARY  
540 EAST 57TH STREET  
CHICAGO, ILL. 60637  
U.S.A.

UNIVERSITY OF CHICAGO  
LIBRARY  
540 EAST 57TH STREET  
CHICAGO, ILL. 60637  
U.S.A.